

- ・研究の目的

救急科の高齢入院患者のオトガイ舌骨筋の筋厚が嚥下機能、入院関連機能障害、および予後に与える影響を検討する。

- ・対象となる患者様

2024年3月から当院の救急科に自宅から入院し、入院期間が5日以上でリハビリテーションを実施した65歳以上の患者様とする。

- ・研究期間

当院の臨床研究倫理委員会承認日から2030年3月31日

- ・使用させていただく診療データ

年齢、性別、Body Mass Index (BMI)、診断名、既往歴、血液生化学検査所見、入院前 Barthel Index (BI)、入院中 BI、退院時 BI、入院前 Functional Oral Intake Scale (FOIS)、入院中 FOIS、退院時 FOIS、リハビリ総単位数、超音波画像装置で得られたオトガイ舌骨筋横断面積

- ・個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究データは、患者様を直接特定できる情報（氏名やID）が記載されたファイルを暗号化し、匿名化していますので、当院のスタッフ以外が当院の患者様を特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも匿名化していますので、患者様のプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の臨床研究審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

- ・問い合わせ先（情報管理責任者/本研究の連絡窓口）

小田原市立病院リハビリテーション室

研究責任者 小澤哲也

住所：小田原市久野46番地

電話：0465-34-3175